2024 年 9 月 13 日（金）実施

2025年度
一橋大学国際・公共政策大学院
専門職学位課程
秋季社会人特別選考　第2次試験（小論文）問題

〔公共法政プログラム〕

受験番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿

注意事項

（1）　問題冊子、解答用紙及び下書用紙には、受験番号だけを書き、氏名は書かないでください。

（2）　問題冊子、解答用紙及び下書用紙は、試験室から持ち出さないでください。

（3）　受験票は机の上においてください。

（4）　受験票と筆記用具、時計以外のものは机の上に出さないでください。

（5）スマートフォン、携帯電話、タブレット等の電子機器の電源を切り、かばんの中にしまってください。

（6）　時計等についているアラーム機能、計算機能、翻訳機能、その他時計以外の機能をＯＦＦにしてください。

（7）試験中に体調不良または手洗所に行く等の理由で試験室から一時退室しようとする場合は、監督員に申し出てください。

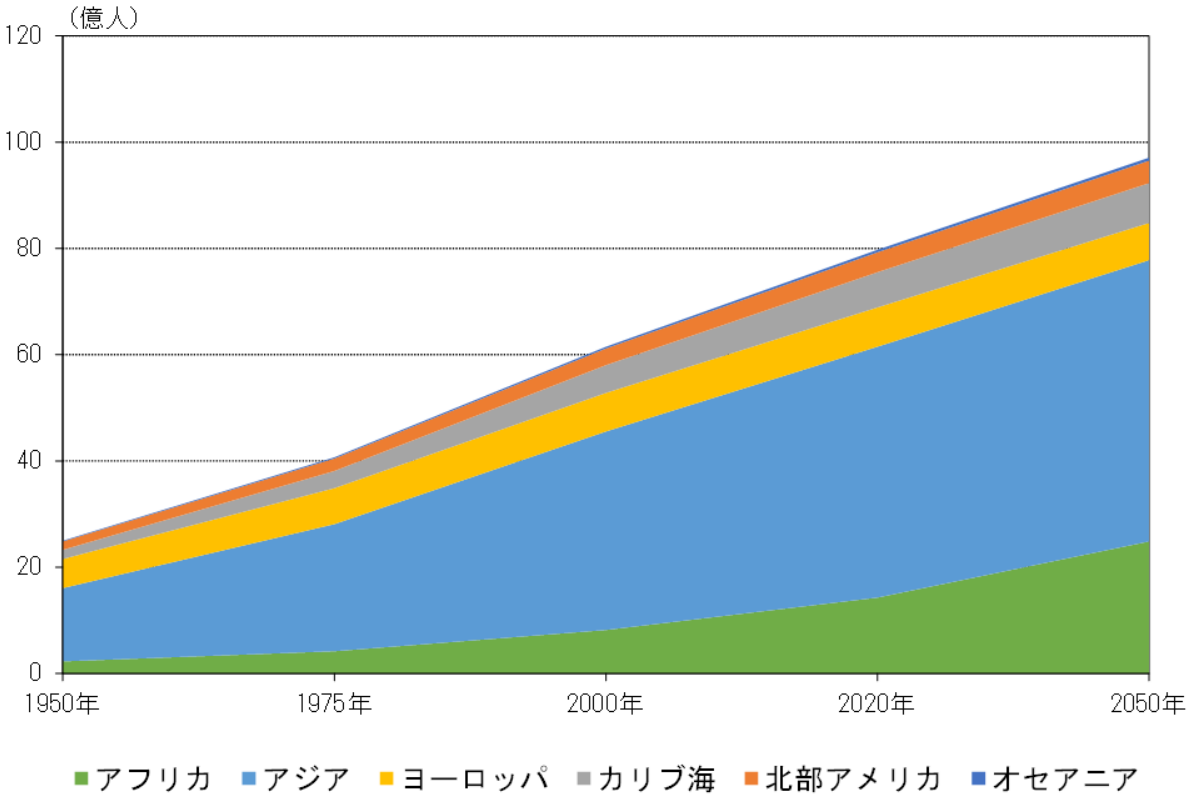
（8）　不正行為を行った者または監督員の指示に従わなかった者は、失格とします。

問　題

次の資料は、近年における世界的な食料需給に関する資料である。これらを参考に、日本における食料の安定供給に関する課題を示すとともに、それに対して国や地方公共団体が講じるべき施策を論じなさい。

資料１

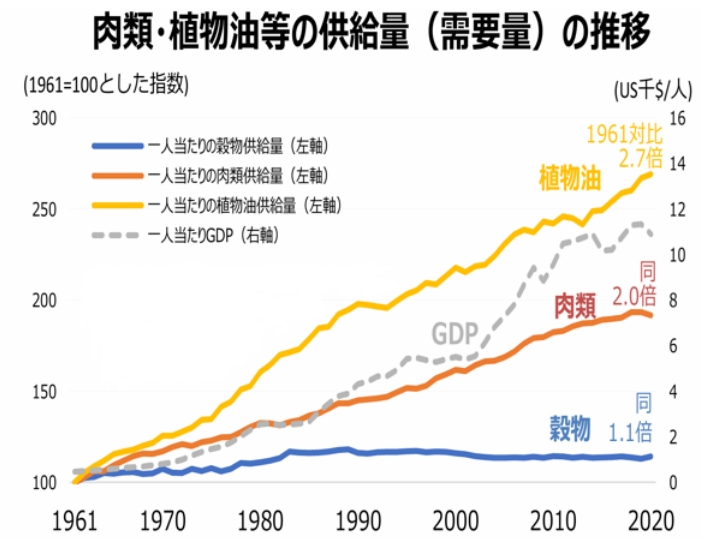
世界人口の推移



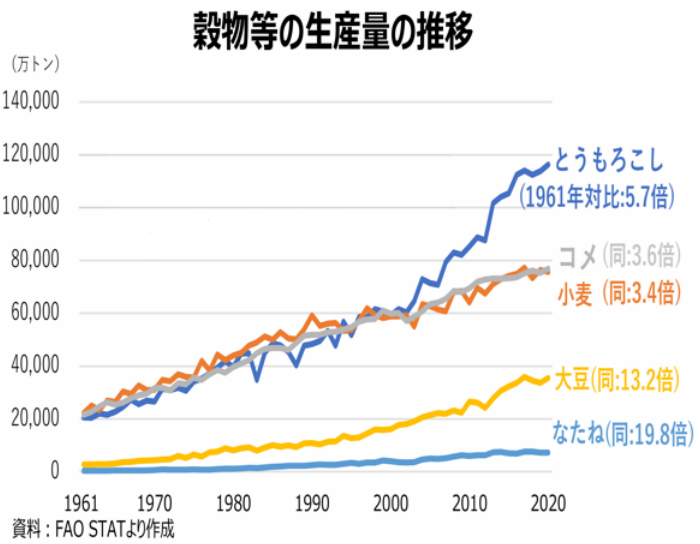
国立社会保障・人口問題研究所資料
（https://www.ipss.go.jp/syoushika/tohkei/Popular/P_Detail2023.asp?fname=T01-12.htm）より作成

資料２

食料供給量の推移



資料：FAO STAT、世界銀行Data Bankより作成



資料：FAO STATより作成

農林水産省ウェブサイト（https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/anpo/attach/pdf/horitsu-17.pdf）より抜粋・加工

資料３

主要な穀物等の生産量の平年比

凡例：▲10%未満は赤。 □ は２カ国以上の不作または２年以上連続の不作（それぞれ▲10%超の不作）。 **抽出した国は日本の主な輸入先国。**
※平年は7中5平均。ただし、2021年度以降は2020年度時点の７中５平年数量を利用。

小麦

	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
米国	-1%	-11%	-25%	14%	7%	1%	-17%	-4%	19%	4%	0%	-8%	6%	0%	-3%	0%	15%	-11%	0%	7%	4%	-6%	-6%
カナダ	12%	-13%	-34%	-4%	9%	8%	0%	-20%	13%	5%	-11%	-8%	0%	33%	0%	-9%	2%	-3%	4%	1%	8%	-32%	3%
豪州	-1%	6%	-57%	25%	14%	36%	-48%	-35%	-2%	2%	15%	23%	-6%	-2%	-4%	-3%	45%	-10%	-29%	-48%	18%	34%	44%

とうもろこし

	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
米国	4%	-2%	-10%	-1%	11%	0%	-10%	8%	-1%	8%	-1%	-3%	-18%	4%	4%	-4%	7%	3%	0%	-5%	-2%	5%	-4%
ブラジル	13%	-5%	14%	2%	-18%	-9%	5%	14%	-7%	-5%	-12%	5%	14%	3%	6%	-22%	10%	-10%	7%	1%	-19%	8%	23%

大豆

	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
ブラジル	-2%	-1%	9%	-1%	-3%	2%	3%	0%	-8%	4%	6%	-12%	0%	-1%	2%	-7%	4%	6%	-2%	0%	3%	-4%	15%
米国	1%	5%	-2%	-16%	8%	5%	6%	-15%	-5%	7%	5%	-4%	-11%	-5%	6%	-1%	7%	6%	4%	-18%	-3%	2%	-2%
アルゼンチン	5%	2%	7%	-7%	0%	4%	18%	3%	-29%	17%	3%	-19%	-7%	1%	20%	8%	1%	-28%	11%	5%	3%	-2%	-44%

菜種

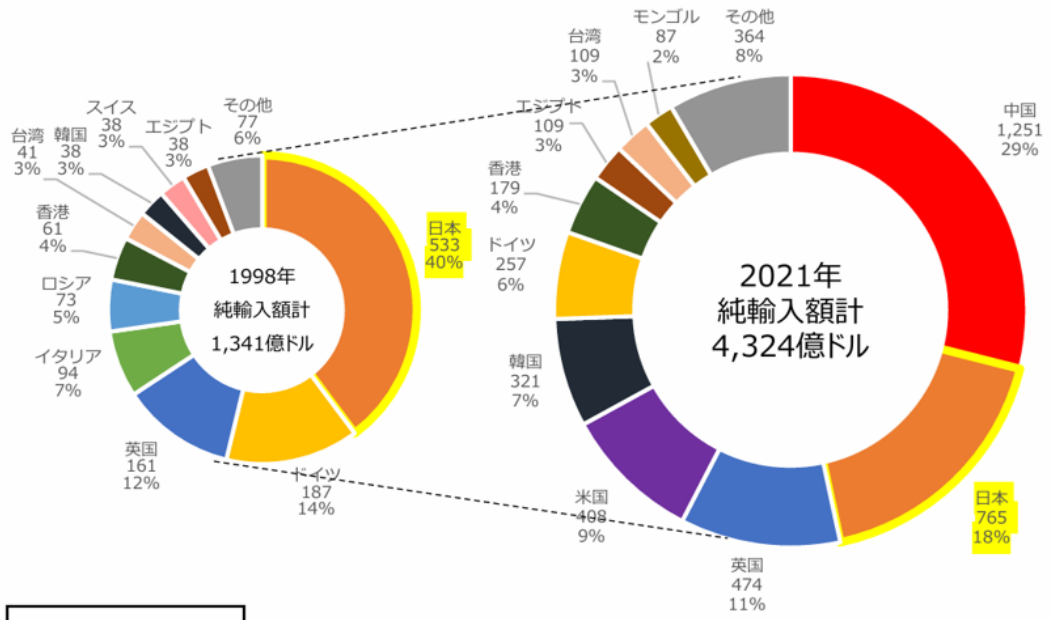
	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
カナダ	9%	-27%	-36%	-5%	1%	11%	-7%	-10%	10%	4%	-4%	3%	-9%	13%	-6%	-2%	1%	9%	6%	1%	-2%	-31%	-4%
豪州	14%	4%	-47%	17%	14%	5%	-63%	-23%	5%	-11%	-12%	14%	30%	8%	-6%	-24%	31%	15%	-35%	-48%	5%	50%	83%

資料：USDA PS&Dより作成

農林水産省ウェブサイト（https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/anpo/attach/pdf/horitsu-17.pdf）より抜粋
※ 凡例中の「７中５平均」とは、直近７か年のうち、最高及び最低を除いた５か年の平均値である。

資料４

農林水産物純輸入額の国別割合



<凡例>
国名
純輸入額（億ドル）
シェア（%）

資料：「Global Trade Atlas」を基に農林水産省作成
注：経済規模とデータ制約を考慮して対象とした41ヵ国のうち、純輸入額（輸入額-輸出額）がプラスとなった国の純輸入額から作成。

農林水産省ウェブサイト（https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/anpo/attach/pdf/horitsu-17.pdf）より抜粋